

かがやけ



五小っ子

いのち

第13号 令和3年 7月12日

文責: 第五小学校 校長 野中邦明

いつでも どこでも だれにでも

大きな声で 自分から

年中大好き!

生命を大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成
～ すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくまさいっぱい ～

熱中症による事故防止に向けて

熱中症は、気温・湿度などの環境条件に配慮した活動(運動)、こまめに水分や塩分を補給し休憩を取ること、子どもたちの健康観察を通して健康管理を徹底することなどで防止できます。7月1日から8月31日まで「熱中症予防強化月間」と設定されておりますので、1学期末から夏休み期間中も、ご家庭でも予防に努めていただければと思います。とはいえ、マスクは暑い夏場以降も着用していく必要がありますが、厚生労働省や環境省は、「屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクをはずすようにすること」を求めています。また「マスクを着用している場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめな水分補給をこころがけること。そして、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、適宜、マスクをはずして休憩することも必要」と強調しています。

暑さ指数	
31以上	危険
28~31	嚴重警戒
25~28	警戒
21~25	注意
21未満	ほぼ安全

熱中症 警戒アラート

発表時の予防行動

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い環境条件下に発生する可能性が高い地域を特定し、発表されます。発表された地域には、所定気温、湿度を基準として、熱中症の予防行動を積極的にとります。

外出はできるだけ控え、装いを避けましょう

熱中症予防のためには、①暑気候指数、②湿度、③日射量、④体感温度を考慮し、⑤服装、⑥水分補給、⑦休憩、⑧日陰の活用を徹底してください。

熱中症のリスクが高い方に声をかけましょう

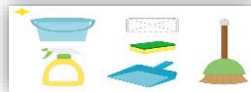
高齢者、子ども、障がいのある方、要介護者、高齢者等の脆弱な方への声かけが必要です。こまめに水分補給を促すなど、声かけをお願いします。また、熱中症の危険性を周知するための声かけをお願いします。

熱中症警戒アラート

環境省と気象庁では、暑さ指数(WBGT)に基づき、熱中症の危険性が極めて高いと予測される場合に、暑さへの「気づき」を呼びかけ国民の熱中症予防行動を効果的に促す「熱中症警戒アラート」を、令和3年4月28日(水)から全国で運用を開始しました。暑さ指数の予測値が都道府県内のどこかで33以上になる場合に、対象都道府県等に対して気象庁と環境省より発表されます。7月5日(月)には、今年2回目の「熱中症警戒アラート」が発令されました。

熱中症警戒アラートが発表されている日には、各ご家庭においても外出を控える、エアコンを使用する等の、適切な熱中症予防行動を積極的にとってください。学校においては教室ではエアコンを活用し、昼休みや水泳指導中等でも、こまめな水分補給を呼びかけています。

ピカピカ運動 12日(月)~16日(金)



五小では各学期末の終わりに「ぴかぴか運動」を実施しています。
○普段使っている教室・廊下・棚などを、感謝の気持ちできれいにする
○気持ちよく学期を終え、次の学期を気持ちよく迎える
○子ども「清掃」への意識をより高めることをねらいとしています。ぴかぴか運動もたてわり掃除で行いますが、普段行っている掃除に、『プラス1(ワン)』の清掃活動を行います。感謝の気持ちを込めて頑張ってくれることでしょう。

私たちは、夏休み中に各教室や廊下の『ワックスがけ』をして、2学期に備えます。



五小、五つの歡え

- ～ 生命を大切に
- ～ 親を大切に
- ～ 感謝の心を大切に
- ～ 自分を大切に
- ～ まじめに

おめでとう! かがやく五小っ子

第7回島原市ソフトテニス親善交流大会
U-15男子2位トーナメント

第2位 野口咲翔(5年) 柴田楓菜
第3位 大矢昊吐(5年) 林田蓮哉

第20回会長旗少年ソフトボール大会
準優勝 安中リトルファイブ
優秀選手賞 岩切 正継(6年)



全国学生書道クール
銅賞 小嶋 希和(5年)